
私立高校 スバル物語

猫神シュー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私立高校 スバル物語

【Nコード】

N0146B

【作者名】

猫神シユー

【あらすじ】

猫神シユーです今回の話は、主人公が学校での出来事を物語にしてみましたまだ、初心者ですが感想を聞かせてください。次回作待っていてください

第1夜

——私立高校——

都会の中心部に位置する高校

都会とは思えないほど自然豊かで、花壇には沢山の花が咲いている
敷地も広く校舎は四階建てが2棟

外壁は濃い赤のレンガ模様で作られている

スバルは四階の自分の教室（112）にいた

見た目は普通の教室となんら変わらない
変わっているといえば教室後ろの壁にズラリと一列に全員の学校で
の目標が貼られているくらいだ

そんな教室の一番窓側の列、前から四番目に座って窓の外を見ていると、

「スバルくん！」

声が聞こえた方を見てみると楓がそこにいた

「何ボーツとしてるの？」

「……別に」

面倒くさそうに返す

「あっちでみんなと遊ぼうよー！」

「……分かった」

どうでもよかったが仕方なく行くことにした
教室前の方。

男女数人が集まってい騒いでいた

「さあ、みんなとトランプしようね」

勧められるがまま、席につかされた

楓は俺を囲む女子達と楽しく話している

「まずは、

婆抜きだ」

元気にシンゴが言う

「イエーイ！」

数人の女子が言う

こんな感じがしばらく続き、テンションが少し上がっていく

あれこれ30分たっただろうか…。

「どうだ？ スバル！楽しかっただろ？」

シンゴが聞いてきた

「うん！楽しかった、また呼んでくれよな」

「分かったぜ」

自分の席に戻る

楓は、まだ女子達と話している

そのとき、

《ガラガラー》

赤ぶち眼鏡が不釣り合いな先生が入ってきた

すると、話しあっていた楓達は、すぐに席につく『え、今日は…』

そんな言葉からはじまった先生の話は数分で終わった。

帰ったあと隣に座っている楓が

「スバル君ってさ、今日の昼休みどうするの？」そうだな、昼寝
！」

「昼寝よりもちよっと手伝ってほしい事があるんだけど！」

「そんなことよりも昼寝の方が…」

少し弱気気味に言う

すると、まるでマンガの怒りマークが付きそうな顔で、

「そんなこと？」

そんな強い口調で言われたら、はい　としか言えない

嫌なくらい午前中が早く終わり渋々付き合わせられる事になった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0146b/>

私立高校 スバル物語

2010年10月12日07時39分発行